

令和4年度 研修講座シラバス

研修の種類	指定研修	コンセプト	教育相談コーディネーターの養成
-------	------	-------	-----------------

1 研修講座名

事業名	教育相談コーディネーター養成の拡充		
対象	高等学校・中等教育学校の総括教諭及び教諭、養護教諭	定員	60
講座名	教育相談コーディネーター養成研修講座2(高等学校)		

2 研修目的・日数

研修の目的	インクルーシブ教育の推進に向けて、生徒が抱える諸問題への適切な支援と校内の教育相談体制の構築を目指し、教育相談、生徒理解、個に応じた学習支援及びケース会議の進め方等の知識・技能を高め、学校内外の人的・物的資源をコーディネートできる人材を養成します。	日数	7
-------	--	----	---

3 研修内容

日程・会場	ねらい(身に付けたい資質・指導力等)	形態・時間	内容	講師等	備考
机上研修 4/25(月) 掲載開始 □	神奈川県の支援教育やインクルーシブ教育の推進について理解を深め、教育相談コーディネーターの役割を学ぶ。	講義・演習 2時間30分	「神奈川の支援教育と教育相談コーディネーターの役割について」	所員	1日目までに受講
1日目 5/16(月) 9:00～16:30 集合研修		開講式 10分			
	アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション等について学び、教育相談コーディネーターに求められる力について理解する。	講義・演習 2時間50分	「高校生の心理学的援助について」	筑波大学准教授 飯田順子	
	自傷や自殺等の思春期に見られる精神症状や学校での対応、医療との連携について理解し、具体的支援にいかす。	講義・演習 3時間	「思春期の精神症状への理解と対応～子どもの自傷と自殺、その周辺～」	横浜市立大学附属病院助教 宮崎秀仁	
	この講座を受講するにあたって、教育相談コーディネーターとしてどのような力を身につけていきたいか協議する。	オリエンテーション 30分	「オリエンテーション」	所員	
2日目 6/16(木) 9:00～16:30 集合研修	思春期に見られる発達障害の特性の理解を深め、具体的支援にいかす。	講義・演習 3時間	「発達障害の理解と支援」	所員	
	チーム支援を充実させるため、ケース会議シートを活用し、生徒理解の深め方と、効果的なケース会議の在り方について、理解する。	講義・演習 3時間30分	「ケース会議の進め方～生徒理解を深めるために～」	所員	
3日目 8/8(月) 9:00～16:30 集合研修	チーム支援を充実させるため、ファシリテーション技法の基礎を学び、効果的なケース会議の在り方と円滑な運営について、理解する。	講義・演習 1時間	「ケース会議の進め方～ファシリテーションの視点を踏まえて～」	所員	
	不登校となる生徒について理解を深め、具体的支援にいかす。	講義 2時間	「不登校の理解と支援について」	関東学院大学教授 青戸泰子	
	実際の事例をもとにケース会議を開き、それを通して生徒理解を深める。	演習 3時間30分	「ケース会議①・②」	所員	
4日目 9/5(月) 9:00～16:30 集合研修	保護者との協働に向けて、保護者の気持ちを理解しよりよい関係を築くための方法について知る。	講義・演習 3時間	「保護者との協働～カウンセリングの視点から～」	所員	
	実際の事例をもとにケース会議を開き、それを通して生徒理解を深め、具体的な支援を見出す。	演習 3時間30分	「ケース会議③・④」	所員	

5日目 10/11(火) 9:00～16:30 集合研修	生徒の困りを理解し、個に応じた多様な学習支援を学ぶ。	講義・演習 3時間	「個に応じた多様な学習支援について」	横浜国立大学准教授 後藤隆章	
	スクールソーシャルワーカーや関係機関の役割を知り、効果的な連携について理解する。	講義 1時間	「SSWとの連携」	子ども教育支援課 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー	
	実際の事例をもとにケース会議を開き、それを通して生徒理解を深め、具体的な支援を見出すとともに、効率的なケース会議の運営について理解する。	演習 2時間30分	「ケース会議⑤・⑥」	所員	
机上研修 10/31(月) 掲載開始 □	スクールカウンセラーと連携して、教育相談体制を充実させるための具体的な方策について理解を深める。	講義 45分	「スクールカウンセラーとの連携」	所員	6日目までに受講
	支援シートの活用により、校内及び入学前・卒業後の支援をつなぐことを理解する。	講義 45分	「支援をつなぐ～支援シートの活用～」	所員	
	教育相談コーディネーターの具体的な活動について理解し、校内の教育相談体制を構築する視点を持つ。	実践報告 45分	「教育相談コーディネーターの実際」	県立高等学校教員	
	通級指導導入校の実践を知り、今後の支援にかす。	実践報告 45分	「通級指導導入校の実際」	県立高等学校教員	
	自校の校内支援体制を振り返るとともに、チーム学校として取り組む、校内支援体制のあり方について協議する。	協議 45分	「チーム学校として取り組む校内支援体制づくり」	所属校で実施	
6日目 12/9(金) 9:00～16:30 集合研修	これまでの研修を振り返り、教育相談コーディネーターの役割と具体的な働きについて理解を深め、校内支援体制づくりや今後の実践に役立てる。	協議 2時間	「教育相談コーディネーターの役割と校内支援体制について」	所員	
	特別支援学校のセンター的機能について理解する。	講義 1時間	「特別支援学校のセンター的機能の活用」	県立特別支援学校教員	
	教育的ニーズのある生徒のキャリア支援について学び、学校でつきたい力を考える。	講義・演習 3時間	「教育的ニーズのある生徒のためのキャリア支援について」	早稲田大学教授 梅永雄二	
		閉講式 30分			

4 受講にあたって

- ・ケース会議①～⑥では受講者に事例を提出していただきます。
- ・6日目の協議に向けて、7月～11月の間に勤務校にてケース会議を実践していただきます。詳細については、2日目の研修にて説明します。
- ・勤務校で使用している名札をお持ちください。
- ・研修6日目10/11(火)の9:00～12:00と、研修8日目12/9(金)の11:00～16:00については、通級指導教室新担当教員研修講座2(高等学校)の受講者と合同で研修を実施します。
- ・研修の実施について緊急の連絡が必要となった場合、総合教育センターホームページ上にある「緊急連絡掲示板」にその内容を掲載しますので、事前にご確認ください。

教育人材育成課 キャリア推進班
0466-81-1635